綱敷天神社（つなしきてんじんしゃ）　社報

喜多埜（キタノ）

第二二六号

甲辰（きのえたつ）年

今年の干支は「甲辰」です。干支とは、正式には「十干十二支（じっかんじゅうにし）」といい、十干とは甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十から成り、十二支は子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二から成ります。

十干とは、木火土金水の五行を基本としており、それらを陽年、陰年の二年に分け、それぞれ陽年は兄(え)、陰年は弟(と)とし、陰陽五行説と組み合わせ、十年一回りの暦法の一つです。

十二支とはその木火土金水から成る、生命が、誕生から次の生命へ遷移するまでの生命のうごきを表したものが本義で、覚えやすいように動物が当てはめられ、十二年一回りの暦法です。

その本年の干支「甲辰」を読み解きますと、

十干の「甲(きのえ)」の字の原義は、尾を引いた亀を表しており、古代では亀卜といって、大事な物事を始める前には、亀の甲羅を焼き、その割れ目で吉凶を判じていた事から、物事の始まりを表す甲は十干の始まりに当てられているともいわれています。またこの十干における甲の意味するところは木性の陽年(木の兄)を指し、亀の甲羅のように固い種子から、芽が出て、樹木が雄々しく伸び上がる様を表し、また「かん高い声」の「かん」は甲の字が充てられているように、上に突き抜けるように伸びる事も意味します。

十二支の「辰」の字は、元々はハマグリなどの二枚貝が殻を閉じているところから、足を出している姿が漢字としての原義であり、その足がぷるぷると動く様が「振」の意味に捉えられ、動き始めを意味する字となりました。辰の刻とは午前八時頃であり、人々が活動を始める時間でもあります。このように動きが活発に上り調子になる様を、架空ではありますが、地上から天上へと駆け上がっていく「龍」に充てられ、現在では干支の辰は龍として知られています。

この甲辰の年を総じて判じますと、殻から上に向かって一気に動き始める年といえます。しかしながら、年始の災害を思いますと、上ばかりではなく、下、まわりへの安全にも配慮すべき年と、大神さまのお諭しのようにも思えます。どうぞ氏子崇敬者の皆様にはこの年は安全を念頭に、様々な事において伸び動きゆく年となります事、ご祈念申し上げます。

謹みて、先頃発生した令和六年能登半島地震に被災された方々に心よりお見舞い申し上げます

厄年の御祈祷

当宮では厄年の厄除け祈祷を受け付けております。左表にもあります通り、それぞれ厄年がございますが、特に数え年の男性四十二才（昭和五十八年生）、女性三十三才（平成四年生）の本厄の方は、大きな厄年となります。当宮での御祈祷はご予約制ですので、事前にお電話かメール等でご予約下さい。（初穂料五千円）

・御本社(神山町)＝〇六－六三六一－二八八七
・御旅社(茶屋町)＝〇六－六三七一－一五八六

男性		
前厄	本厄	後厄
平成 13年生(巳) 24歳(小厄)	平成 12年生(辰) 25歳(中厄)	平成 11年生(卯) 26歳(小厄)
昭和 59年生(子) 41歳(中厄)	昭和 58年生(亥) 42歳(大厄)	昭和 57年生(戌) 43歳(中厄)
昭和 40年生(巳) 60歳(小厄)	昭和 39年生(辰) 61歳(中厄)	昭和 38年生(卯) 62歳(小厄)

背景が紫色は大厄、黄色は中厄、白色は小厄です。なお記載の年齢は数え年です。

女性		
前厄	本厄	後厄
平成 19年生(亥) 18歳(小厄)	平成 18年生(戌) 19歳(中厄)	平成 17年生(酉) 20歳(小厄)
平成 5年生(酉) 32歳(中厄)	平成 4年生(申) 33歳(大厄)	平成 3年生(未) 34歳(中厄)
昭和/平成 64/元年生(巳) 36歳(小厄)	昭和 63年生(辰) 37歳(中厄)	昭和 62年生(卯) 38歳(小厄)
昭和 40年生(巳) 60歳(小厄)	昭和 39年生(辰) 61歳(中厄)	昭和 38年生(卯) 62歳(小厄)

今月の暦

【御旅社授与所(茶屋町) 御朱印平日受付日】
一月廿五日(木) 十三時～十七時の予定

【祭礼】
歳旦祭(元日)…神事のみ 歳の始めの元旦を寿ぐ
筆始祭(二日)…神事のみ 書の三筆、三聖ゆかり
元始祭(三日)…神事のみ 宮中三殿鎮座の日皇位の元始
若菜祭(七日)…神事のみ 七草粥 古くは人日とも
とんど祭(十五日…御本社にて古しめ縄お焚き上げ)
初天神祭(廿五日)…神事のみ 年初の天神さまご縁日

【節気】
小寒(六日)…これより寒中。寒中見舞いは十六日から。
大寒(廿日)…一年で最も寒い頃。みそぎ、寒稽古の時期。

【雑節】
初まいり…水天宮(五日)、住吉(九日・初卯)、えびす(十日)、
鏡開き(十一日)…元日にお供えしたお餅を食べる
旧元日(二月十日)…旧暦のお正月元日。中国では春節とも

【大安】
一月六日、十六日、廿二日、廿八日

【朔望】
下弦(四日)、朔月(十一日)、上弦(十八日)、満月(廿六日)

【祝日】
元日(一日)…年始
成人の日(八日)…平成十二年から一月第二月曜になった

【旬】
[野　菜] 大根、蕪、水菜、春菊、海老芋、クワイ、七草
[果　物] 柑橘類、リンゴ、レモン(国産)
[魚介類] フグ、ヒラメ、ブリ、キンメ、タラ、ワカサギ
[その他] 小豆、こんにゃく、葛根、納豆、早咲きの梅

～綱敷天神社SNS、地図サイト～

Twitter

Facebook

当宮地図 Google MAP

編著　綱敷天神社（つなしき）　禰宜（ねぎ）（御旅社 神主）　白江 秀知